



▲新生活に胸をふくらませるまどび学園の子どもたち。左から安井和哉君(小4)、野崎あかりさん(中1)、菊地瞭太君(小4)、仲宗根瑠美君(小6)

まどび学園は、旧合川町で平成5年に始まった山村留学制度。親元を離れて入園した子どもたちが、一年間受け入れ農家と山村留学センターを交互に行き来し、生活します。

式では、三澤園長が、「自分のことは自分でできるようにすること、みんなで仲良く助け合うこと、いろんな人に感謝の気持ちを持つことが、ここでの生活で身に付く。今年一年、楽しく仲良く山村留学生活を送って」と歓迎のあいさつ。続いて子どもたちが、「キャンプをしたり、川でカジカ突きをしたい」、「かまくらを作りたい」など山村留学での抱負を発表しました。

最後に、今年山村留学生活の2年目を迎える



▲学園の生活を見守る市の関係者、受け入れ農家の皆さんと一緒に。1年間、受け入れ農家と山村留学センターを交互に行き来して生活し、学園では様々な自然体験活動などを行います

野崎あかりさん(神奈川県・中1)が「一年間4人で力を合わせ、楽しい一年間になるようにしよう」と歓迎の言葉を述べました。

今年度は、野崎さんのほか、3年目を迎える仲宗根瑠美君(神奈川県・小6)、今年度から山村留学の仲間入りをする安井和哉君(大阪府・小4)と、菊地瞭太君(神奈川県・小4)の4人が北秋田市で生活を送ります。

野崎さんは合川中学校、仲宗根君、安井君、菊地君は合川南小学校にそれぞれ通学し、まどび学園では年間を通し様々な自然体験や農家体験活動を行います。

「キャンプをしたり、川でカジカ突きをしたい」

山村留学まどび学園 平成20年度は4人が本市で生活

山村留学まどび学園(園長・三澤仁市教育長の入園祭が4月3日、合川・三木田の市学童研修センターで開かれ、受け入れ農家や関係者など約30人が、前年度からの継続2人を含む第16期生4人を歓迎しました。

まどび学園は、旧合川町で平成5年に始まった山村留学制度。親元を離れて入園した子どもたちが、一年間受け入れ農家と山村留学センターを交互に行き来し、生活します。

式では、三澤園長が、「自分のことは自分でできるようにすること、みんなで仲良く助け合うこと、いろんな人に感謝の気持ちを持つことが、ここでの生活で身に付く。今年一年、楽しく仲良く山村留学生活を送って」と歓迎のあいさつ。続いて子どもたちが、「キャンプをしたり、川でカジカ突きをしたい」、「かまくらを作りたい」など山村留学での抱負を発表しました。

最後に、今年山村留学生活の2年目を迎える

サービス DONDONカード

商店街の活性化目指し新規導入

鷹巣地区の銀座通り商店街を中心とする16店舗が加盟し展開する共通ポイントカード「DONDON(ドンドン)カード」のサービスが3月29日から始まりました。

入会金、年会費は無料で、利用200円ごと(税別)に1ポイントがもらえ、300ポイントで満点となります。満点になるとビンゴゲームにより当選金(500円〜3000円)がプリペイド式で還元されるといしくみです。ビンゴ付きのカード導入は県内初。

加盟会員らは、「サービス導入で消費者の流出に少しでも歯止めをかけ、中心商店街の活性化につなげたい」と意気込んでいます。



▲たかのす銀座通り商店会活性化部会の高橋伸幸部会長ほか関係者によるテープカットでサービス開始を告げました

旧家に伝わる逸品を公開

本城・金家のお雛様展

森吉地区本城にある金家住宅で、4月上旬「金家のお雛様展(開催期間:6日〜13日)」が開催されました。

金家住宅は明治後期〜昭和初期に建てられた阿仁川流域の代表的な大地主の邸宅。洋館と和館が並んで残る県内でも数少ない建造物で、国の登録文化財に指定されています。和館は金家より旧森吉町へ寄贈され、昨年まで地区公民館として住民に親しまれました。

今回のお雛様展は旧暦の3月3日(現在の4月8日)にあわせて行われ、明治後期に購入されたと伝えられるお雛様をはじめ、金家に代々伝えられてきた品々(金和彦さん所有)が初めて一般公開されました。明治から平成へ、年月を超えて対面する貴重な展示品に見学に訪れた人達も興味深げでした。



▶お内裏様、お雛様、五人囃子(上部2段が明治後期に購入されたと伝えられています。また、下段には大館・北秋田地方で昔流行した押し絵籠が飾られています)

子ども警察官を先頭に行進

市内各所で交通安全パレード

平成20年春の全国交通安全運動が4月6日から始まり北秋田市内各所でも交通安全パレードが行われました。

運動の重点目標は子どもと高齢者の交通事故防止。加えて、全ての座席のチャイルドシートの正しい着用の徹底、自転車の安全利用の推進、飲酒運転の根絶を目指し展開することになっています。

市役所前で行われた出発式には、交通安全協会、交通安全母の会、市老人クラブ連合会などから約100人が参加。パレードでは、かわい制服姿の子ども警察官を先頭に市内を行進し市民に交通安全を呼びかけました。



▲北秋田市でも、交通安全パレードで子どもと高齢者の交通事故防止などを市民に呼びかけました

火災多発期を迎え気持一つに

市消防団一斉放水訓練

北秋田市消防団(吉田嘉隆消防団長と婦人消防隊による一斉放水訓練が4月6日、鷹巣、合川、森吉、阿仁の各地区で行われました。

訓練は、春季の火災多発期を迎え、消防ポンプ等の機械器具の点検や消防技術向上などを目的として実施されているものです。

鷹巣中央公園で行われた鷹巣支団(佐藤文信支団長)の訓練には団員・婦人消防隊282人が参加、有事に備えきびきびとした動きで訓練に臨みました。

この時期は、空気が乾燥し、ちょっとした不注意から火災が発生しやすくなります。十分注意し、火の用心を心掛けましょう。



▲鷹巣中央公園で実施された鷹巣支団の訓練。午前7時、堤西側の岸辺から一斉放水を行いました